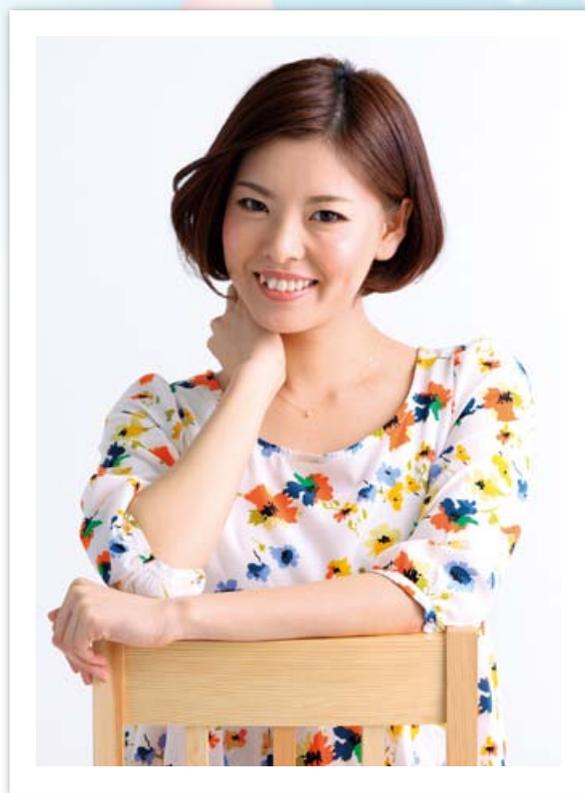


●くすぎかな
1988年8月生まれ。大館市出身、由利本荘市育ち。短大卒業後、航空自衛隊へ入隊。2013ミス・ユニバース・ジャパンに挑戦し、秋田代表として日本大会へ出場し「タニタ特別賞」を受賞。2014年4月より、各種イベント出演、国立大学での講師、テレビCMの出演など本格的なタレント活動をスタート。秋田県内JAグループのテレビCM(JAオートローン)放送中。厳しい自衛隊の訓練の中で培った精神力と、ミス・ユニバースで鍛えた女子力を武器に秋田の美を支える屋台骨を目指す。



2013ミス・ユニバース・ジャパン 秋田代表
タレント

久杉 香菜

秋田の食がかなえてくれる、 健康という美しさを伝えたい

「おかわり！」

朝の掛け声はいつもこれです。白いご飯を朝から2杯も食べていた私は、こんなに大きくなりました。食卓にはいつもテーブルいっぱいのお野菜や果物。丹精込めて育てたお野菜や果物。私は昔からよく食べる子でした。

大館市で農業をする祖父母。農業そのものが生活であるように必死に励む姿を、頼もしく見てきました。恥ずかしながら私は県外で一人暮らしをしたときに初めて、お米やお野菜を購入することで農家の努力や苦勞を備

値として感じる事ができました。そして改めて秋田の食の質の高さにも驚かされました。

健康であることが世界基準で「美しい」と言われる現代。体をつくるのは、食事です。食への関心はミス・ユニバースへの挑戦でより高まりました。健康で美しい体は、エステやサプリメントでもなく、新鮮で質の良い食材がつくりまします。ファストフードではミス・ユニバースのステージには立てません(笑)。

秋田という食に恵まれた環境で、伸

び伸びと育った私は2013ミス・ユニバース・ジャパン日本大会で、持ち前の健康美を評価され、「タニタ食堂」で有名なタニタ様より特別賞をいただきました。そもそも私がミス・ユニバースに挑戦するきっかけになったのは、第21代ミス・フレッシュユとしてJAさんにお世話になったことでした。そして今年JAオートローンのCM出演が決まり、これもまたJAさんをきっかけに新たに活動する機会をいただきました。JAさんには深い思い出があります。

一歩秋田を出ると、秋田出身ということでも「秋田美人は違うね」といったような声を掛けていただくことが多くあります。秋田美人というブランドを背負って全国のステージに立つことは私の自信であり、誇りでもありました。そして「秋田美人」は、単に肌が白く、きれいな外見に限らず、「秋田の厳しい気候の中で、農業に生きてきた女性」、そこに原点があるようです。さらには秋田の食が秋田美人をつくって来たとも言えるでしょう。秋田美人と健康美は、いつの時代も密接につながっているはずなんです。

雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにも負けず…美しいだけじゃない、体力面でも精神面でも強さを持っている、そんな秋田を支えて来た女性たちの姿が秋田美人というブランドを確立させたのだと思います。

本来の秋田美人が持つ、強さを持った女性性は私の目標であり、そして秋田美人を応援することが私の役目でも

あります。自らが挑戦し続けながら、秋田の若者が挑戦する、その背中を押す存在でありたい。7月7日からガーラ・アマノに所属し、真の秋田美人を目指す「新秋田美人」というテーマの下に活動を始めました。現在モデルや、健康・美容、キャリア育成についての講演会、各種イベントの司会などタレントとして活動しております。

以前、女性をターゲットに「食と健康」を絡めた講演会を開かせていただきました。健康が、自分本来の美しさを引き出してくれるということをお話ししました。「私たちは、食べ物からできている」というアメリカのことわざがあるように、私自身、秋田の食に支えられ、健康に過ごすことができています。健康に感謝します。こういった経験を含め、食と健康、その大切さを伝えることで農家の皆さんと、消費者の皆さんとの懸け橋になることが、私の今できる農業への協力になるのではないかと考えます。

農業の未来は、高齢化や現代の食生活の変化でたくさんさんの問題が生まれていると聞いております。秋田の農業は全国の中でも誇れるものですが、いつまでも農業が秋田を支えていく姿を見ていきたいです。そして私たち世代は今後、農業に対してより関心を持って、大切にしていかなければならないと感じました。

私の健康を支える食、食を支える皆さん。これからも感謝を込めて応援していきたいです！